※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　工業科（ファッション工学科）

教科	工業	科目	ﾌｧｯｼｮﾝ工学実習	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	ﾌｧｯｼｮﾝ造形基礎（実教出版）						
副教材等	ﾌｧｯｼｮﾝ造形（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ﾌｧｯｼｮﾝ工学実習は、テキスタイル、染色、縫製、パターンの基本を学習します。織物、染色、縫製＋パターンを２回、５回に分けトータル７回のローテーションで行います。テキスタイルでは織機の使用方法、基本組織の織り方を使用した制作を行います。染色では手切り捺染の基本操作染を使用し、顔料による制作を行います。縫製では工業用ミシンを使用し、基本となる原型スカートの制作を行います。パターンでは基本となる原型スカートを使用し、フレアスカート等への展開を行います。１年生における実習はﾌｧｯｼｮﾝ工学科の軸となる３分野の基礎となります。３年後、将来の目標へとつなげるように学んでください。また今後の座学における学習も振り返りながら制作しましょう。

２　学習の到達目標

（1）．　テキスタイルでは生地の理解から始まり、織物の基本的構造を学習し、作品への創造性の基礎を養う。また、織りにおける機材の知識と技術を身に付け、自ら思考し、適切な製作方法を判断し、表現する力を養う。また、主体的に取り組む態度を育成する。

（2）．　染色では染色に対する基本理解、捺染による基本操作方法の知識と技術を身に付ける。ラスタ系ソフトの技術を身に付ける。デザインした染色制作物の制作を通して、創造性を養う。また、自ら思考し、適切な製作方法を判断し、表現する力を養う。また、主体的に取り組む態度を育成する。

（3）．　縫製では手縫いの基本練習、工業用ミシンの職業用アイロンの基本操作の技術を身に付ける。原型スカート制作を通して、デザイン考案で創造性を養い、さらに、平面から立体へ空間認識能力を身に付ける。自ら思考し、適切な製作方法を判断し、表現する力を養う。また、主体的に取り組む態度を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ﾌｧｯｼｮﾝ工学に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解し、その技術を適切に活用している。	ﾌｧｯｼｮﾝ工学に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	ﾌｧｯｼｮﾝ工学に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	織物	・織物の基礎知識 ・手機の構造 ・整経、整織	a：織物の基礎的な知識を理解できる b：手機の構造を考慮し、図案を考え、整織することができる。 c：織物の構造について自ら学び主体的に取り組むことができる。	学習状況の観察 レポート 作品	学習状況の観察 レポート 作品	学習状況の観察 レポート 作品
	染色	【顔料を使用した捺染による染色】 ・写真撮影 ・Photoshop による画像加工 ・Illustrator によるデザイン画の作成 ・手切りによる版作成 ・捺染 【浸染による染色】 ・３原色を使用したナイロンの浸染 ・色相環の作成	a：基礎的・基本的な Photoshop 及び捺染の方法について理解し、実践できる b：Illustrator を理解し、創造的な表現に生かす工夫をすることができる。 c：染色について自ら学び主体的に取り組む a：基礎的・基本的な浸染の方法及び浸染について理解し、実践できる b：作業を通して、安全に配慮し、正しい手順で適切に作業することができる c：染色について自ら学び主体的に取り組む	学習状況の観察 レポート 作品	学習状況の観察 レポート 作品	学習状況の観察 レポート 作品
	縫製	工業用ミシンの使い方 ロックミシンの使い方 手縫い タイトスカートの製作	a：基礎的・基本的な ミシン及びロックミシン・手縫いについて理解し、実践できる b：生地の特性を活かしながら、タイトスカートを作成する。 c：作品の完成度	学習状況の観察 レポート 作品	学習状況の観察 レポート 作品	学習状況の観察 レポート 作品
	パターン	・ 製図用語、基礎的技術、スカート原型を理解する。 ・フレアスカート、タックスカートに展開する。 ・ ギャザースカートをデザインし、展開する。 ・ シーチングで組み立てし、補正する。 ・ 補正後型紙を完成させる。	a：基礎的・基本的なパターンに関する用語・技術等を理解し、実践できる。 b：作業を通して、課題に対して解決に向け思考し、自ら作品表現ができる。 c：作品に対して自ら取り組み、自主的に調べた結果等を活かした作品表現を行っている。	学習状況の観察 レポート 作品	学習状況の観察 レポート 作品	学習状況の観察 レポート 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度